

○青森県森林組合連合会と青森県内素材生産・販売担当者との「山元委託販売打合せ会議」に出席しました。

令和6年6月18日（火）に青森県森林組合連合会の主催で開催された「令和6年度 第1回国有林野産物の山元委託販売打合せ会議」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は打合せ会議と工場見学の2部構成となっており、前半の打合せ会議は弘前市の弘前市総合学習センターにおいて行われました。冒頭、青森県森林組合連合会の黒滝代表理事常務から挨拶があり、続いて青森県森林組合連合会の担当者から今年度の木材市況動向について説明が行われました。また、各森林管理署の担当者からは委託販売の進捗状況や今後の販売見通しについて情報提供があり、青森事務所からは東北森林管理局管内の市況動向、青森県内での今後の販売見通しについて情報提供し、その後意見交換となりました。住宅需要の低迷から製品の需要も伸び悩んでおり、丸太の販売を取り巻く状況が悪化しています。そのような中、会議を通して最新の情勢を踏まえた販売状況について情報共有を図ることができ、具体的な採材の方法等を含めて有意義な意見交換を行うことができました。

後半の工場見学は同市内の「弘前単板工業株式会社」にて行われました。

まず、会社の概要について説明をいただき、実際に工場の見学へ移りました。弘前単板工業株式会社では国産広葉樹等を使用した床、家具、公共教育施設向け単板、合板の製造と販売を行っており、実際に丸太が桂剥きにされ、規格に合わせて裁断後、乾燥され単板が製造される様子を見学させていただきました。

私たちが販売している広葉樹丸太が実際に、製品となる過程を見学することができ、広葉樹丸太の供給の重要性を改めて認識することができました。

青森事務所では、今後も国有林材の安定供給や有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。



（委託販売打合せ会議の様子）



（会社概要の説明）